マナビエ
MANABIE

記述の設計図　第3部 組み立てる

U06　材料を集める

材料を集める（要素表・優先順位・入れてはいけない要素）

ベーシック

対象：小学5年・偏差値55〜60

1. 要点（ルール）
2. 例題　物語文「停電の夜」
3. 練習1・練習2（解答らんつき）
4. 解答と採点表

要点　材料を集めるのルール

R06-1　線を引いて、番号をふる

答えに使えそうな本文の所に線を引き、①②と番号をふってから書く。頭の中だけで考えると、入れるはずの要素をわすれたり、書きながらまよったりする。

R06-2　要素表を書く

「要素・中身・根拠の段落・入れる？」の4つを表にする。根拠の段落が書けない要素は、入れない。

R06-3　短く分けて集める

長い答えも、いきなり書かない。要素を一つずつ短く見つけてから、つなぐ。

R06-4　採点は「足し算」

記述は、要素が入っていればその分の点が足される採点が多い。まちがっていない答えでも、要素が足りなければ点は少ない。字数がゆるすなら、根拠のある要素は多めに入れる。

R06-5　入れてはいけない4つ

①本文に書いていない（根拠なし）②本文と食いちがう ③聞かれたことと関係ない ④例を長々と書く。①②は点にならないうえ、引かれることがある。③④は字数をむだにする。

R06-6　入れる順番（優先順位）

①聞かれたことにまっすぐ答える要素（中心）＞②中心をささえる要素（支え）＞③背景。字数が足りなければ③から外す。目安は五十字で2～3つ。

ルールの番号（R06-〇）は、講座全体の通し番号です。動画・Webページ・このPDFで同じ番号を使っています。

例題　物語文「停電の夜」

① 夏休み、ハルは、いなかのおばあちゃんの家にとまっていた。おばあちゃんは口数が少なく、ハルが話しかけても「そうかい」と答えるだけのことが多い。ハルは、少しきゅうくつに感じていた。

② その夜、大きなかみなりが鳴って、家じゅうの電気がふっと消えた。真っ暗な中で、ハルは思わずテーブルの下にもぐりこんだ。

③ 「動かなくていいよ。」暗やみの中から、おばあちゃんのいつもと同じ落ち着いた声がした。おばあちゃんは手さぐりで戸だなを開けると、すぐにかい中電灯をつけた。

④ 明かりの中で見ると、戸だなの中には、水の入ったペットボトルや電池、ラジオが、きちんとならべてあった。「毎月一日に、全部たしかめているんだよ。」とおばあちゃんは言った。

⑤ おばあちゃんはラジオをつけて、停電が朝までつづくことを聞きとると、となりに一人でくらすおじいさんの家へ、かい中電灯を一本とどけに行った。

⑥ もどってきたおばあちゃんは、ハルの横にすわって、ろうそくに火をともした。ハルは、ゆれる火を見ながら言った。「おばあちゃんって、たよりになる人だね。」

⑦ おばあちゃんは「そうかい」とだけ言って、少し笑った。

問　――線部「たよりになる人だね」とありますが、ハルは、おばあちゃんのどのようなところを見て、こう言ったのですか。五十字以内で説明しなさい。

解き方

1. **手順1　線と番号**
   聞かれていることは「おばあちゃんのどのようなところ」。答えは「～ところ。」で終える。たよりになると思えるおばあちゃんの行動に線を引き、番号をふる：③すぐにかい中電灯をつけた ④毎月一日にそなえを確かめている ⑤となりのおじいさんに明かりをとどけた（R06-1）。
2. **手順2　要素表を書く**
   線を引いた所を、要素表に「中身」と「根拠の段落」で書く（R06-2）。①段落の「口数が少ない」も候補に書き、入れるかどうかを考える。
3. **手順3　入れてはいけない要素**
   「やさしい人」「料理が上手」は本文に書いていない（根拠なし）。「ハルをテーブルの下に入れて守った」は本文と食いちがう（もぐりこんだのはハル自身）。「口数が少ない」は、たよりになることと関係ない（R06-5）。
4. **手順4　順番を決める**
   中心＝停電でもあわてず、すぐに明かりをつけた（ハルが目の前で見て、たよりになると感じた行動）。支え＝ふだんからそなえを確かめている・となりの人にも明かりをとどけた。五十字なら3つ入る（R06-4・R06-6）。

5. 手順5　つないで書く

時間の順(ふだん→その夜)に並べると読みやすい。「〜ところ。」で終える。

要素表(材料を集める)

要素	中身	根拠	入れる？
中心	停電でもあわてず、すぐにかい中電灯をつけた	②③	◎ 入れる
支え	ふだんから(毎月一日に)そなえを確かめている	④	○ 入れる
支え	となりに一人でくらすおじいさんにも、明かりをとどけた	⑤	○ 入れる
関係ない	口数が少なく、「そうかい」と答えるだけ	①⑦	× 入れない
根拠なし	やさしい人／料理が上手	なし	× 入れない
食いちがい	ハルをテーブルの下に入れて守った	②と反対	× 入れない

模範解答

模範解答　48字／50字以内

ふだんからそなえを確かめ、停電でもあわてずに明かりをつけ、となりの人にも明かりをとどけるところ。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
中心:停電でもあわてず(落ち着いて)、すぐに明かりをつけた	5点
支え:ふだんから、そなえを確かめている	3点
支え:となりの人にも明かりをとどけた	1点
文末が「〜ところ。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「停電でもあわてなかったところ。」	まちがいではないが、要素が1つだけ。足し算なので5点。字数があまっているのに、点を取りにいっていない。
「やさしくて、停電でもあわてずに明かりをつけたところ。」	「やさしい」は本文に書いていない(根拠なし)。その部分は点にならず、字数もむだになる。
「こわがるハルをテーブルの下に入れて守ったところ。」	本文と食いちがう(もぐりこんだのはハル自身)。0点。
「口数が少ないが、たよりになるところ。」	関係ない要素と、――線部のくり返し。0点。

練習1　説明文「黄色いブロック」

① 駅のホームや歩道で、黄色いでこぼこのブロックを見たことがあるだろう。点字ブロックとよばれるもので、目の不自由な人が、足のうらやつえの先でさわって、道のようすを知るためのものだ。日本で考え出され、今では世界のさまざまな国で使われている。

② よく見ると、点字ブロックには二つの形がある。一つは、細長い線が何本もならんだ形だ。この線は、進む方向を表している。線の向きにそって歩けば、目的の場所まで行けるようになっている。

③ もう一つは、丸い点がたくさんならんだ形だ。こちらは、「ここで止まって、注意して」という合図である。階段の前や横断歩道の前、道が分かれる所などにしかれている。

④ では、なぜ黄色が多いのだろう。目の不自由な人の中には、まったく見えない人だけでなく、ぼんやりとなら見える人もいる。黄色は、灰色の道の上でよく目立つので、そういう人にも見つけやすいのだ。

⑤ 小さな黄色いブロックには、たくさんの情報がつまっている。その上に自転車を止めたり、荷物を置いたりすると、だいじな情報がとちゅうでとぎれてしまう。わたしたちも、気をつけたい。

問　――線部「たくさんの情報がつまっている」とありますが、点字ブロックには、どのような情報がつまっているのですか。五十字以内で説明しなさい。

① 要素表を書こう

要素（中心・支え・背景）	中身	根拠の段落

② 答えを書こう

									10										20
									30										40
									50										

50字以内（1マスに1字。句読点も1字）

練習2　物語文「ベンチからの声」

① 試合の一週間前、タクミは練習中に足首をひねった。医者からは、二週間は走ってはいけないと言われた。六年生にとって最後のサッカー大会だった。

② 「ベンチで見てるだけなんて、いる意味ないよ。」タクミは帰り道で母にそう言って、くちびるをかんだ。

③ 次の日、キャプテンのリョウがタクミの家に来た。「タクミは、いつも周りがよく見えてるだろ。ベンチからなら、コート全体が見える。気づいたことを、大きな声で教えてくれ。声だって、チームの力になるんだ。」

④ タクミは、しばらく何も言えなかった。それから、小さくうなずいた。

⑤ 試合の日。タクミはベンチのいちばん前に立った。「右があいてる！」「後ろから来てるぞ！」タクミは、だれよりも大きな声で、ベンチから声をかけつづけた。試合に出られないくやしさは、もう胸のどこにもなかった。自分にもできることがある。そう思うと、体の中から声がわいてきた。

⑥ 試合のあと、リョウがタクミの肩をたたいた。「タクミの声、ちゃんと聞こえてたよ。」

問　――線部「だれよりも大きな声で、ベンチから声をかけつづけた」とありますが、タクミがこのようにしたのはなぜですか。六十字以内で説明しなさい。

① 要素表を書こう

要素（中心・支え・背景）	中身	根拠の段落

② 答えを書こう

									10										20
									30										40
									50										60

60字以内（1マスに1字。句読点も1字）

解答と採点表

練習1　説明文「黄色いブロック」

解き方

1. **手順1　線と番号**
   「どのような情報」をさがす。②段落「線は、進む方向を表している」、③段落「止まって、注意して、という合図」に線と番号。①段落「目の不自由な人が、道のようすを知るため」にも線（R06-1）。

2. **手順2　短く分けて集める**
   二つの形を、別々の要素として短く書く。線の形＝進む方向。点の形＝止まって注意する場所（R06-3）。

3. **手順3　関係ない要素を外す**
   「日本で考え出された」は情報の中身ではない。「黄色は見つけやすい」は、ブロックを見つけるための色の話で、ブロックがつたえる情報ではない（R06-5③）。

4. **手順4　例は短く**
   「階段の前や横断歩道の前」は例。全部ならべず、一つだけそえるか「止まって注意する場所」とまとめる（R06-5④）。

要素表（材料を集める）

要素	中身	根拠	入れる？
中心	線の形は、進む方向を知らせる	②	◎ 入れる
中心	点の形は、止まって注意する場所（階段の前など）を知らせる	③	◎ 入れる
支え	目の不自由な人に、道のようすを知らせる（さわってわかる）	①	○ 入れる
関係ない	日本で考え出された／黄色は見つけやすい	①④	× 入れない
根拠なし	地名や行き先が書いてある	なし	× 入れない

模範解答

模範解答　47字／50字以内

目の不自由な人に、線の形で進む方向を、点の形で階段の前など止まって注意する場所を知らせる情報。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
中心:線の形＝進む方向／点の形＝止まって注意する場所(両方で5点・片方なら2点)	5点
支え:目の不自由な人に、道のようすを知らせる	3点
関係ない要素(黄色・日本で考え出された)を入れていない	1点
文末が「～情報。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「黄色くて目立つという情報。」	ブロックの色の話で、聞かれた「情報」とずれる。0点。
「進む方向を知らせる情報。」	線の形だけ。点の形がぬけている。5点中2点＋形の1点。
「行き先の駅の名前を知らせる情報。」	本文に書いていない(根拠なし)。0点。

練習2　物語文「ベンチからの声」

解き方

1. **手順1　線と番号**
   ①段落:足首をひねって、試合に出られない。③段落:リョウに、気づいたことを声で教えてくれ、声もチームの力になると言われた。⑤段落:自分にもできることがあると思った(R06-1)。
2. **手順2　要素表と順番**
   中心(直接の理由)＝自分にも、声でチームの役に立てることがあると思った(⑤)。支え(きっかけ)＝リョウに声もチームの力になると言われた(③)。背景＝けがで試合に出られない(①)(R06-6)。
3. **手順3　入れてはいけない要素**
   「監督にほめられたかった」は本文に書いていない。「くやしさをまぎらわすため」は⑤段落「くやしさは、もう胸のどこにもなかった」と食いちがう(R06-5)。
4. **手順4　字数で決める**
   六十字なら3つ入る。背景→きっかけ→直接の理由の順につなぎ、「～から。」で終える。

要素表(材料を集める)

要素	中身	根拠	入れる？
中心(直接の理由)	自分にも声でチームの役に立てることがあると思った	⑤	◎ 入れる
支え(きっかけ)	リョウに、声もチームの力になると言われた	③	○ 入れる
背景	足のけがで、試合に出られなかった	①	△ 字数があれば
根拠なし	監督にほめられたかった	なし	× 入れない
食いちがい	くやしさをまぎらわすため	⑤と反対	× 入れない

模範解答

模範解答　57字／60字以内

けがで試合に出られなかったが、リョウに声もチームの力になると言われ、自分にも声で役に立てることがあると思ったから。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
中心:自分にも声でチームの役に立てる(できることがある)と思った	5点
支え:リョウに、声もチームの力になると言われた	3点
背景:けがで試合に出られなかった	1点
文末が「～から。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「足をけがして、試合に出られなかったから。」	背景だけ。声を出した理由になっていない。1点。
「出られないくやしさを、声を出してまぎらわしたかったから。」	⑤段落と食いちがう。0点。
「監督にほめられたかったから。」	本文に書いていない(根拠なし)。0点。

マナビエ
MANABIE

記述の設計図　U06 材料を集める（ベーシック）

© MANABIE　無断転載・複製・改変・再配布を禁じます